



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

学校だより

令和 5年11月 1日
東京都立羽村特別支援学校長
外山 裕介

学校評価アンケートに御協力ありがとうございました

先日は学校評価アンケートに御協力ありがとうございました。多くの温かい励ましは、我々教職員の活力となります。また、保護者の皆様の思いあふれる様々な御意見もありがたく拝見いたしました。課題に対して具体的な改善策を練りながら、今後の教育活動に生かしてまいります。

地域との接点 ～喜びをともに～

10月21日土曜日に羽村市富士見平にあるマミーショッピングセンターにおいて、商店会区内を地域住民の交流の場として開放するハロウィーンフェスタが開催され、地域の子どもから御高齢の方まで一堂に会して楽しむ姿が見られました。羽村特別支援学校からは、高等部の音楽部(器楽合奏「ホールニューワールド」、合唱「歩いて行こう(いきものがかり)」の発表)、作業班(食品加工班・木工班・ハンドクラフト班の製品販売)が参加をしてきました。

本校は一人一人の可能性を尊重し生きる力を育てる学校として、児童・生徒の自立と社会参加への意欲を育み、その実現のために必要な知識・技能、能力(思考・判断・表現)、態度及び習慣を養う主体的な学びを支援することを大切にしています。地域と共に育つなかで、よりよい生活や人間関係を築こうとする態度の育成を目指すことは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会の実現に向けての大切な一歩と考えています。「緊張したけど発表できた!たくさん拍手をもらえた!」「お客さんが喜んでくれて嬉しい!」、といった経験こそが、社会の一員として生徒の可能性を上げ、豊かな人生を送っていくための力につながることでしょう。

今後も、共生社会の実現に向けて、地域社会と連携・協働した教育活動を展開し、地域社会のなかに、児童生徒の能力や可能性について探るとともに、理解の拡大をめざしてまいります。

(右上に続く)

文責：副校長 有馬 宏子

X(Twitter)に御注目を!

学習活動に関する情報を「X(Twitter)」で発信しています。子供たちが、学校教育において、どのような活動ががんばっているのか、いち早く情報をお届けします。どうぞ、「X(Twitter)」に御注目ください!



「羽村特支のむかし話」

11月【紙すき その1】

『和紙とは、日本古来から伝わる、植物の皮の繊維から作りだす紙』

昔の羽村養護(旧称)では、高等部の紙工班で紙すきに取り組んでいました。原材料は桑です。カイコの餌になる葉の部分を取り、枝の長さを揃えて切り、皮を剥ぎ、大鍋の化成ソーダでグツグツ煮て、皮と木に分けて繊維を取り出します。

木づちで叩いて細かくほぐし、牛乳パックから取り出したパルプと合わせてミキサーにかけたら、型に入れて紙をすき、乾かして出来上がり、味のある羽村和紙は、素敵なカレンダーへと変身しました。



学校への電話連絡の時間帯について

欠席やご相談など学校への電話連絡時間帯は、

平日 午前7時45分から 午後6時30分まで

休日や夜間の緊急時は

学校携帯080-9404-1946となります。

インターネットによる欠席等の御連絡も可能です。

(本校ホームページ「欠席(遅刻)連絡」をタップまたはQRコードから

必要事項を入力)

